第6 令和7年度企業会計決算の状況

企業会計は、県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、流域下水道事業、病院事業の４事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

１ 水道事業の概況

営業関係では、北中勢水道用水供給事業（北勢系・木曽川用水系：給水能力80,300㎥／日、北勢系・三重用水系：給水能力51,000㎥／日、北勢系・長良川水系：給水能力18,000㎥／日、中勢系・雲出川水系：給水能力81,416㎥／日、中勢系・長良川水系：給水能力58,800㎥／日）及び南勢志摩水道用水供給事業（給水能力139,850㎥／日）の２事業を運営し、令和７年度は県内18市町に対し、延べ78,964,790㎥の給水を行いました。

令和７年度の営業成績について、事業収益は9,166,478千円（対前年度比101.0％）で、内訳は、営業収益8,228,481千円（対前年度比102.2％）及び営業外収益937,998千円（対前年度比95.0％）であり、また、事業費用は9,492,255千円（対前年度比102.3％）で、内訳は、営業費用9,341,651千円（対前年度比103.2％）及び営業外費用150,603千円（対前年度比65.6％）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額325,776千円が当年度の純損失となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに水道用水の安定供給を図るため、北中勢水道用水供給事業及び南勢志摩水道用水供給事業において耐震化や老朽化対策などの施設改良を計画的に実施しました。

令和７年度損益計算書　（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

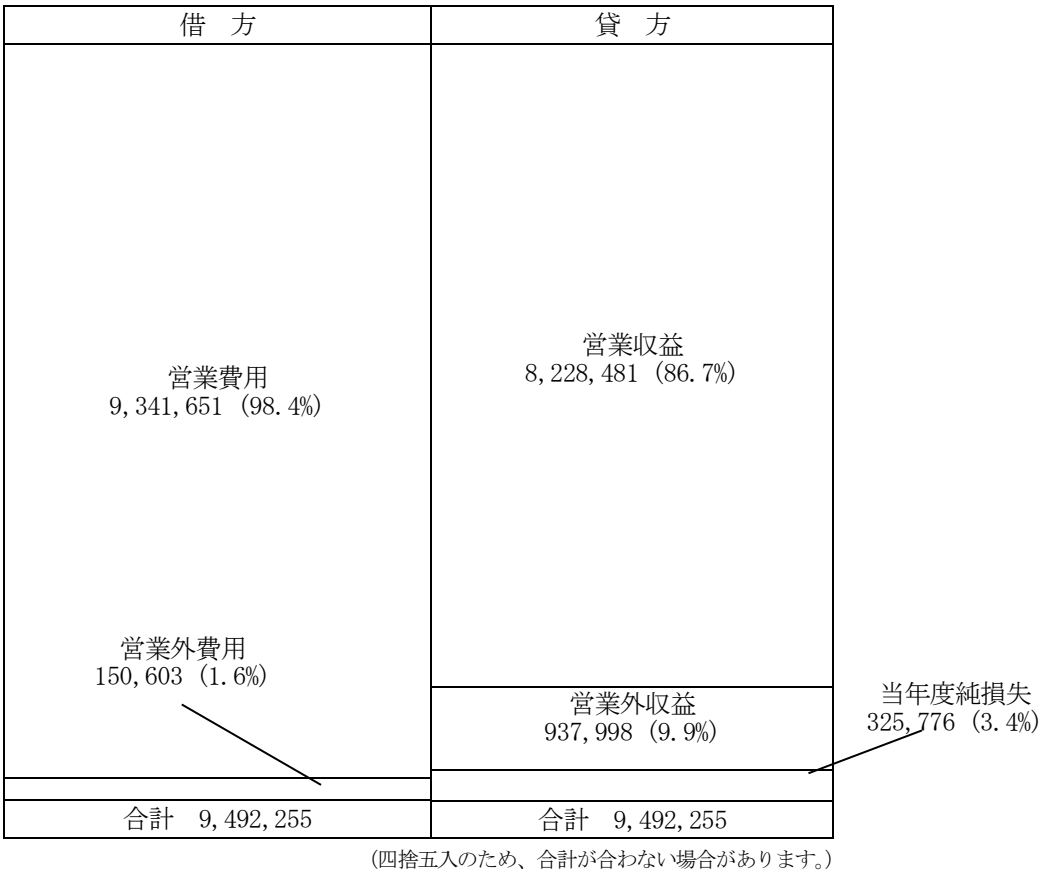
（単位：千円）

借　　方		貸　　方	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
営業費用	9,341,651	営業収益	8,228,481
原水及び浄水費	2,853,872	給水収益	8,224,391
配水費	834,008	その他営業収益	4,089
業務費	333,990		
総係費	333,893		
減価償却費	4,598,903		
資産減耗費	386,986		
営業外費用	150,603	営業外収益	937,998
支払利息及び企業債取扱諸費	142,084	受取利息	27,127
受託工事費	914	他会計補助金	39,729
雑支出	7,605	補助金	18,226
		受託工事収益	914
		長期前受金戻入	849,677
		雑収益	2,324
		当年度収益合計	9,166,478
		当年度純損失	325,776
合　　計	9,492,255	合　　計	9,492,255

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和７年度損益計算書＜Ｐ／Ｌ＞（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（単位：千円、％（構成比））



（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

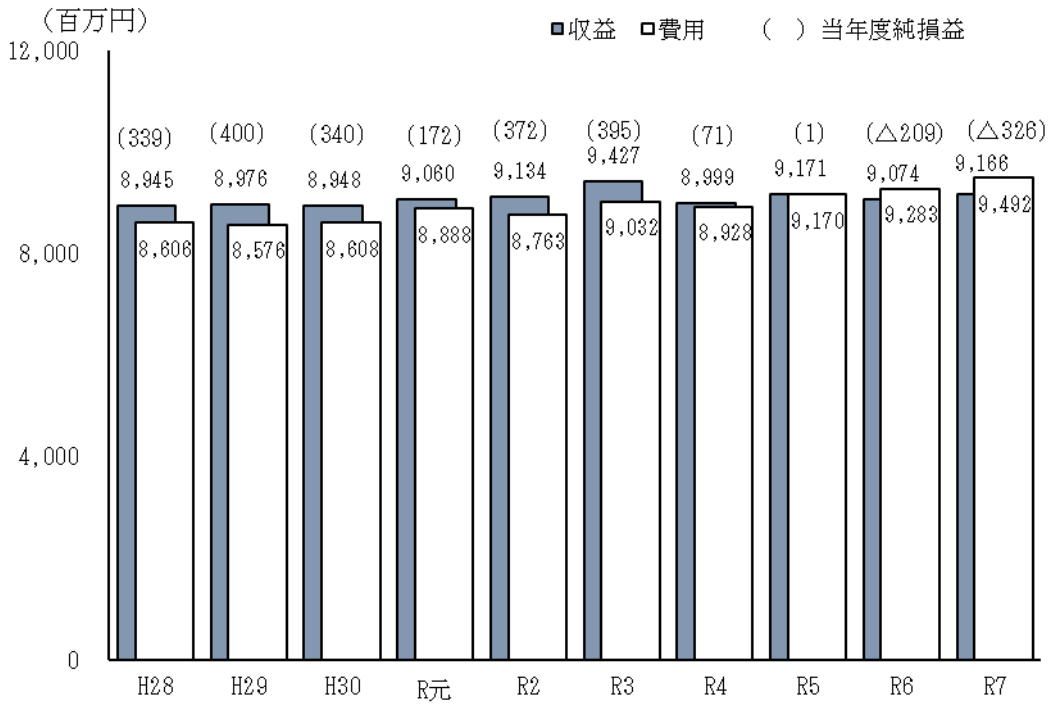
貸借対照表＜Ｂ／Ｓ＞（令和８年３月31日現在）

（単位：千円、％（構成比））

借　方	貸　方
固定資産 117,486,346（93.3%）	固定負債 10,124,802（8.0%） 流動負債　3,082,528（2.4%） 繰延収益　19,893,884（15.8%） 資本金 92,456,904（73.4%） 剰余金　406,490（0.3%） 資本剰余金　869,153 欠損金　462,663
流動資産 8,478,262（6.7%）	
合計　125,964,608	合計　125,964,608

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

年度別の総収益・総費用の推移



（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

２　工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 726,140 ㎥／日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 17,300 ㎥／日）及び松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 ㎥／日）の３事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、令和７年度においては 107 工場に対し、延べ 209,428,312 ㎥の工業用水を供給しました。

令和７年度の営業成績について、事業収益は 5,706,468 千円（対前年度比 97.2%）で、内訳は、営業収益 5,318,778 千円（対前年度比 99.0%）及び営業外収益 387,690 千円（対前年度比 107.1%）であり、また、事業費用は 6,177,272 千円（対前年度比 102.2%）で、内訳は、営業費用 5,986,768 千円（対前年度比 101.9%）及び営業外費用 190,504 千円（対前年度比 114.3%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額 470,804 千円が当年度の純損失となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

令和７年度損益計算書（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）

（単位：千円）

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
営業費用	5,986,768	営業収益	5,318,778
原水及び浄水費	1,978,717	給水収益	5,080,816
配水費	408,677	その他営業収益	237,962
業務費	259,149		
総係費	383,617		
減価償却費	2,846,898		
資産減耗費	109,712		
営業外費用	190,504	営業外収益	387,690
支払利息及び企業債取扱諸費	186,627	受取利息	21,548
雑支出	3,876	他会計補助金	8,451
		長期前受金戻入	336,921
		雑収益	20,771
		当年度収益合計	5,706,468
		当年度純損失	470,804
合計	6,177,272	合計	6,177,272

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和７年度損益計算書＜Ｐ／Ｌ＞（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（単位：千円、％（構成比））

借　方	貸　方
営業費用 5,986,768（96.9%）	営業収益 5,318,778（86.1%）
営業外費用 190,504（3.1%）	営業外収益 387,690（6.3%） 当年度純損失 470,804（7.6%）
合計　6,177,272	合計　6,177,272

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

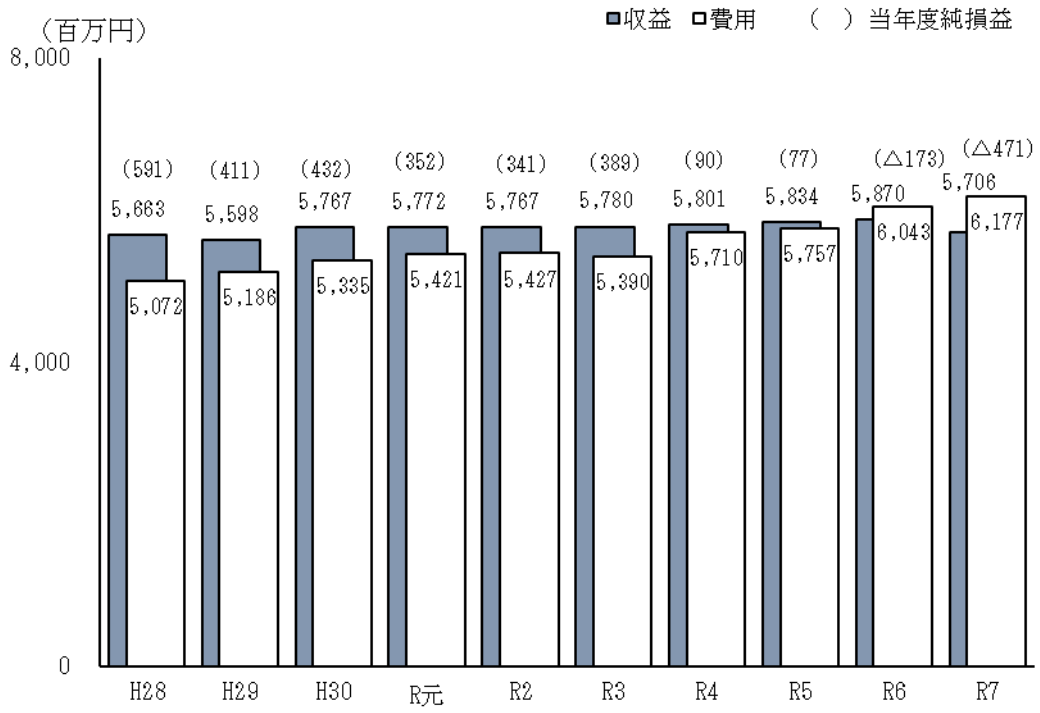
貸借対照表＜Ｂ／Ｓ＞（令和８年３月31日現在）

（単位：千円、％（構成比））

借　方	貸　方
固定資産 116,846,060（95.0%）	固定負債 26,225,996（21.3%） 流動負債　2,191,046（1.8%） 繰延収益　15,843,098（12.9%） 資本金 77,988,108（63.4%）
流動資産　6,153,981（5.0%）	剰余金　751,793（0.6%） 資本剰余金　1,228,734 欠損金　476,941
合計　123,000,041	合計　123,000,041

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

年度別の総収益・総費用の推移



（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

３　流域下水道事業の概況

営業関係では、北勢沿岸流域下水道事業（北部処理区：処理能力149,500㎥／日、南部処理区：処理能力76,300㎥／日）、中勢沿岸流域下水道事業（志登茂川処理区：処理能力22,600㎥／日、雲出川左岸処理区：処理能力40,200㎥／日、松阪処理区：処理能力47,500㎥／日）及び宮川流域下水道事業（宮川処理区：処理能力35,600㎥／日）の３流域６処理区を運営し、令和７年度は県内15市町からの汚水85,405,312㎥を処理しました。

令和７年度の営業成績について、事業収益は14,125,803千円（対前年度比103.1％）で、内訳は、営業収益6,217,254千円（対前年度比99.0％）及び営業外収益7,908,549千円（対前年度比106.7％）であり、また、事業費用は13,924,586千円（対前年度比103.3％）で、内訳は、営業費用13,390,757千円（対前年度比103.4％）及び営業外費用533,829千円（対前年度比101.6％）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額201,217千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進するとともに施設の老朽化対策など施設改良を計画的に実施しました。

令和７年度損益計算書　（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）

（単位:千円）

借　　方		貸　　方	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
営業費用	13,390,757	営業収益	6,217,254
管渠費	25,853	維持管理負担金収益	6,217,254
ポンプ場費	110,973		
処理場費	5,192,746		
総係費	173,904		
減価償却費	7,882,006		
資産減耗費	5,275		
営業外費用	533,829	営業外収益	7,908,549
支払利息及び企業債取扱諸費	498,108	受取利息及び配当金	1
雑支出	35,721	他会計補助金	532,604
		長期前受金戻入	7,330,326
		雑収益	45,618
当年度費用合計	13,924,586		
当年度純利益	201,217		
合　　計	14,125,803	合　　計	14,125,803

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和７年度損益計算書＜Ｐ／Ｌ＞（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（単位：千円、％（構成比））

借　方	貸　方
営業費用 13,390,757(94.8%)	営業収益 6,217,254(44.0%)
営業外費用 533,829(3.8%)	営業外収益 7,908,549(56.0%)
当年度純利益 201,217(1.4%)	
合計　14,125,803	合計　14,125,803

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

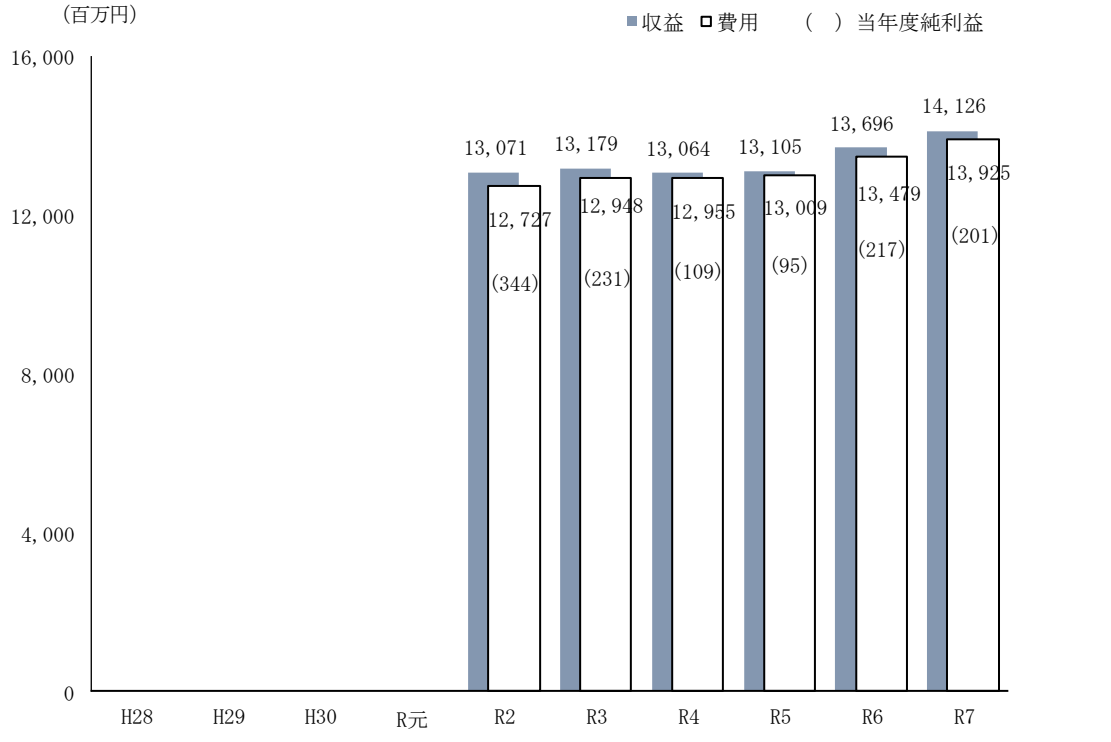
貸借対照表＜B／S＞（令和８年３月31日現在）

（単位：千円、％（構成比））

借　方	貸　方
固定資産 230,661,068(98.5%)	固定負債 32,839,209(14.0%)
	流動負債　5,328,171(2.3%)
	繰延収益 165,393,567(70.6%)
	資本金　9,760,349(4.2%)
流動資産 3,573,586(1.5%)	剰余金 20,913,358(8.9%) 資本剰余金　19,856,891 利益剰余金　1,056,467
合計　234,234,654	合計　234,234,654

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

年度別の総収益・総費用の推移



（四捨五入のため、差引が合わない場合があります。）

※令和２年度から地方公営企業法の一部を適用しているため、令和元年度以前の損益情報はありません。

４　病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入している志摩病院の県立3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供しているところです。

令和7年度は、こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を行うとともに、経営の健全化に取り組みました。志摩病院においては、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療機能の充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めました。

これらの県立3病院の運営状況については、入院患者数が延べ140,829人(1日平均385.8人)、外来患者数が延べ116,332人（1日平均480.7人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ4,641人の減少、外来患者数は延べ1,233人の増加となりました。

収益については、医業収益が増加したことや、一般会計からの繰入金等が増加したことなどから、経常収益は5,851,055千円となり、前年度に比べ9.8%増加しました。

また、費用については、医業費用において給与費や経費等が増加したことなどから、経常費用は5,953,276千円となり、前年度に比べ1.7%増加しました。

その結果、これらを差引した経常損益は102,220千円の赤字となりました。

なお、建設改良費については、こころの医療センターにおける医療情報システム機器の更新や一志病院における中央監視装置更新工事、志摩病院における精神病棟系統（ACU-20,21）空調設備改修工事等により総額403,288千円を執行しました。

令和７年度損益計算書（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）　（単位：千円）

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
医業費用	5,750,927	医業収益	2,491,937
給与費	3,034,424	入院収益	1,919,314
材料費	253,477	外来収益	425,132
経費	1,884,613	その他医業収益	147,491
減価償却費	556,623		
資産減耗費	9,801		
研究研修費	11,990		
医業外費用	202,349	医業外収益	3,359,118
支払利息及び企業債取扱諸費	64,639	受取利息配当金	3,144
長期前払消費税償却	27,544	他会計補助金	134,457
患者外給食材料費	744	長期前受金戻入	314,980
雑損失	109,422	補助金	88,926
		負担金	2,621,346
		その他医業外収益	196,266
		当年度収益合計	5,851,055
		当年度純損失	102,220
合計	5,953,276	合計	5,953,276

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

損益計算書＜Ｐ／Ｌ＞（令和７年４月１日～令和８年３月 31 日）

（単位：千円、％(構成比)）

借方	貸方
医業費用　5,750,927(96.6%)	医業収益　2,491,937(41.9%)
	医業外収益　3,359,118(56.4%)
医業外費用　202,349(3.4%)	当年度純損失　102,220(1.7%)
合計　5,953,276	合計　5,953,276

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

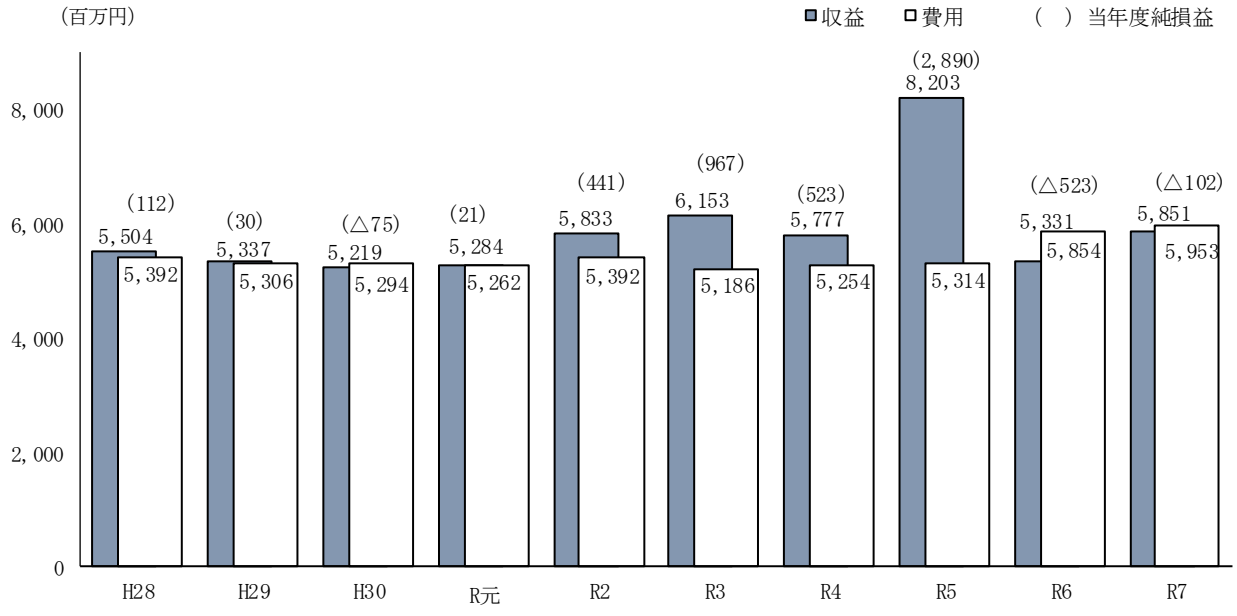
貸借対照表＜Ｂ／Ｓ＞（令和８年３月 31 日現在）

（単位：千円、％(構成比)）

借　　方		貸　　方	
固定資産	7,286,445(82.0%)	固定負債	9,642,078(108.5%)
		流動負債	1,356,751(15.3%)
		繰延収益	1,231,970(13.9%)
		資本金	311,410(3.5%)
		剰余金	△3,653,606(△41.1%)
流動資産	1,602,157(18.0%)	資本剰余金	1,371,559
		欠損金	5,025,165
合計	8,888,602	合計	8,888,602

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

年度別の総収益・総費用の推移



（四捨五入のため、差引が合わない場合があります。）